

不思議を見つけたら記録しておこう

サマーキャンプの午前の部では、地質学の研究者やジオパーク専門員、認定ガイドの皆さんと一緒に、溝口露頭や分杭峠の見学を行いました。見つけたこと、不思議だったこと、もっと知りたいことを写真や動画で記録していきます。予めKeynoteで作ったビンゴを配布しておきました。ビンゴにすることによって見学の視点がはっきりします。また、見落としが無いように子どもたちが意識することができました。



①溝口露頭の見学です。ここでは1枚目のビンゴが全て埋められます。(右ページのビンゴ参照)お題を見ながらガイドさんにたくさん質問をしています。



②ビンゴに書かれたお題を見ながら撮影していきましました。ビンゴになっていることで見落としがないか自分たちでチェックできていました。



③分杭峠から溝口露頭をはっきりと見ることができました。「まっすぐな谷が見える」ことも不思議なことの一つとして感じていました。



④黒河内公民館から北の方向の写真を撮影し「中央構造線」をマークアップで書き込んでいます。実際に写真に線を描くことでガイドさんの説明をよく理解できます。

伊那市 ICT サマーキャンプの実践をもとに推進センターで編集させていただきました

自然観察で活躍する「フィールドビンゴ」をKeynoteで



ビンゴの作り方

①写真と置き換えるためのイラストを準備します。



Keynoteにイラストを挿入し「イメージ」で「プレースホルダとして設定」を選択します。

②必要な枠の数だけコピーします。

③出来上がったそれぞれのお題をつけて配布します。

注) 右下の「丸にプラス」マークをタップして写真を挿入します。違う写真にしたいときには必ず「戻るマーク」をタップしましょう。

授業での活用例

今回紹介したKeynoteを使った「ビンゴ」はイラストなどを「プレースホルダ」として設定しています。このほかにも「イメージギャラリー」を使って複数の写真を入れることもできます。実際の授業での活用例を紹介します。

小学校低学年 国語

カタカナビンゴをしよう

カタカナを一通り学習した後で校内のいろいろな場所でもカタカナを探します。「えほんのなか」「きょうしつのなか」「きょうかしのなか」「がっこうのなか」「しんぶんのなか」「としょかんのなか」といったお題を準備して行います。

見つけたカタカナを他の児童と共有する時間を設けることによってカタカナに親しんだり語彙を増やしていくことができます。

同様に外国語などでも実施することができま

す。新入生でしたら「がっこう探検」で活用することもできるでしょう。

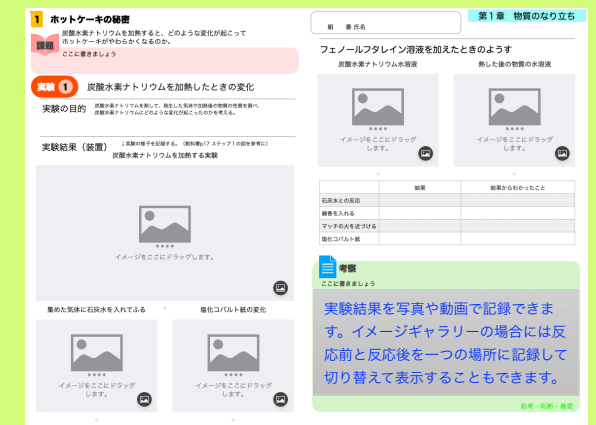


具体的な実践例や資料は左のブック「あそびの学びを創造的にデザインする」に紹介されています。「ブックストア」から入手することができますのでぜひダウンロードして活用してみてください。

中学校2年生 理科

化学変化と原子・分子「物質の成り立ち」

Pagesで作った理科の学習カードです。ここで、イメージギャラリーは非常に有効です。実験の結果を整理して見直すことができます。



「ICT活用教材DB」>03中学校DB>04中学校理科>中理2DW0401物質の成り立ち 参照

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現